

第20期

運用報告書(全体版)

シェール関連株オープン

【2023年4月10日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「シェール関連株オープン」は、2023年4月10日に第20期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2013年4月25日から2026年4月9日までです。	
運用方針	シェール関連株マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて、米国、カナダおよびメキシコのシェール関連企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	シェール関連株マザーファンド	米国、カナダおよびメキシコの取引所上場(上場予定を含みます。)株式(DR(預託証券)を含みます。)を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	シェール関連株マザーファンド	株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年4月9日および10月9日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税分		期騰落率	S & P 500指数 (円換算後) (参考指数)		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
		込	配		騰	落			
	円		円	%	ポイント	%	%	%	百万円
16期(2021年4月9日)	6,682		0	45.9	447,861.65	22.6	93.8	—	656
17期(2021年10月11日)	8,454		0	26.5	493,147.48	10.1	92.0	—	622
18期(2022年4月11日)	11,503		600	43.2	559,374.34	13.4	90.2	—	1,702
19期(2022年10月11日)	11,888		800	10.3	526,578.09	△ 5.9	96.0	—	3,903
20期(2023年4月10日)	10,703		300	△ 7.4	544,407.75	3.4	95.3	—	3,807

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) S & P 500指数(円換算後)は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

S & P 500指数(円換算後)は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率および株式先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

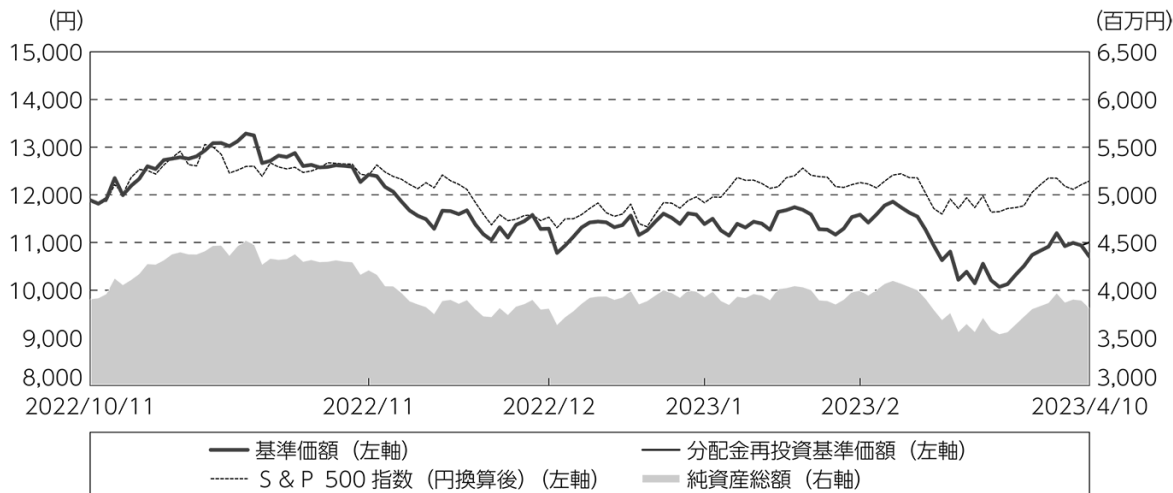
年月日	基準価額	騰落率	S & P 500指数 (円換算後)		株式組入比率	株式先物比率
			(参考指数)	騰落率		
(期首) 2022年10月11日	円 11,888	% —	ポイント 526,578.09	% —	% 96.0	% —
10月末	12,929	8.8	578,371.16	9.8	95.8	—
11月末	12,424	4.5	549,596.08	4.4	93.9	—
12月末	11,290	△5.0	510,799.46	△3.0	93.8	—
2023年1月末	11,387	△4.2	524,198.45	△0.5	95.0	—
2月末	11,583	△2.6	542,898.78	3.1	94.9	—
3月末	10,827	△8.9	540,907.33	2.7	93.0	—
(期末) 2023年4月10日	円 11,003	% △7.4	ポイント 544,407.75	% 3.4	% 95.3	% —

(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年10月12日～2023年4月10日)



期 首：11,888円

期 末：10,703円 (既払分配金(税引前)：300円)

騰落率：△ 7.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、S & P 500指数(円換算後)です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2022年10月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「シェール関連株マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・個別銘柄では、石油・ガス装置・サービス株のアーチロック、石油・ガス精製・販売株のマラソン・ペトロリアム、基礎化学品株のウェストレイクなどの保有がプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・個別銘柄では、石油・ガス探査・開発株のデボン・エナジー、オビンティブ、EQTなどの下落がマイナスに影響しました。
- ・為替市場では、米ドルが円に対して下落(円高)したことがマイナスに影響しました。

投資環境

(2022年10月12日～2023年4月10日)

北米株式市場は、インフレ減速への期待感が相場を下支えしましたが、米連邦準備制度理事会（FRB）のタカ派姿勢継続が重石となり、さらに2023年3月上旬には米国のスタートアップ企業への融資を多く行うシリコンバレーバンクの財政状況の悪化が顕在化したことで信用不安問題が浮上し、上値が抑えられる展開となりました。

原油価格は、世界的な景気減速懸念が台頭し緩やかな下降トレンドとなりましたが、2023年4月にOPECプラス（石油輸出国機構（OPEC）と非加盟の主要産油国で構成）が減産強化に踏み切ったことで期末にかけて上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年10月12日～2023年4月10日)

<シェール関連株オープン>

「シェール関連株マザーファンド」の受益証券の組入比率は、高位を維持しました。

○シェール関連株マザーファンド

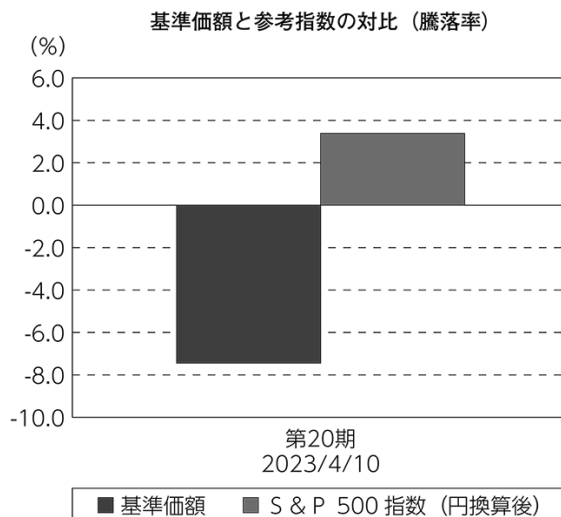
株式組入比率は、概ね高位で推移させました。運用状況につきましては、石油・ガス探査・開発株を選好、高位とし、株主配当などの株主還元策を積極的に実施している株式を中心に組入れを行いました。また、米国内外での成長が期待できるパイプライン株や精製株、エネルギー設備・サービス関連株のウェイトを引き上げました。なお、組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジは行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年10月12日～2023年4月10日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているS&P 500指数（円換算後）の騰落率を10.8%下回りました。

詳細につきましては前掲の「基準価額の主な変動要因」をご参照ください。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、S & P 500指数（円換算後）です。

分配金

(2022年10月12日～2023年4月10日)

当ファンドは、毎年4月9日および10月9日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勧告のうえ決定します。

当期の分配につきましては、1万口当たり300円（税引前）とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行います。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第20期
	2022年10月12日～ 2023年4月10日
当期分配金	300
(対基準価額比率)	2.727%
当期の収益	75
当期の収益以外	224
翌期繰越分配対象額	1,910

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境)

北米株式市場は、不安定な展開が予想されます。特に、2023年4月中旬以降に発表が本格化する2023年1-3月期の銀行決算の内容が、市場に大きな影響を与えると予想されます。また、インフレやFRBによる金融政策に関わるため、消費者物価指数(CPI)や雇用統計にも注目が集まると考えます。当面は、米地方銀行の経営破綻に端を発した金融システムに対する不安とFRBによる利上げの停止に対する期待が交錯する展開を想定します。その後は、米国経済のソフトランディングに対する期待や各国・地域の政府・中央銀行による金融システムへの支援が株価を下支えすると想定します。北米エネルギー企業を巡る環境は、欧州のロシア産エネルギーの輸入回避の動きから北米産天然ガス等の需要増加の恩恵を受けて、収益拡大による財務状況の改善や株主還元が期待できると考えます。また、天然ガスを取り扱う企業は、脱炭素の観点からもニーズが拡大すると見込みます。

(運用方針)

<シェール関連株オープン>

「シェール関連株マザーファンド」を通じて、米国、カナダおよびメキシコの企業の中から、シェールガス/オイルの生産拡大により成長が期待される企業、エネルギーコストの低下により恩恵を受ける企業に投資をします。「シェール関連株マザーファンド」の受益証券の組入比率は、高位を維持する方針です。

○シェール関連株マザーファンド

ファンドの基本方針に基づき、米国、カナダおよびメキシコの企業の中から、シェールガス/オイルの生産拡大により成長が期待される企業、エネルギーコストの低下により恩恵を受ける企業に投資をします。個別銘柄では、成長性、収益性、財務健全性などを勘案して銘柄を選定し、投資します。なお、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年10月12日～2023年 4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	99	0.845	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(45)	(0.382)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(51)	(0.436)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.020	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(2)	(0.020)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	3	0.024	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	104	0.889	
期中の平均基準価額は、11,740円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

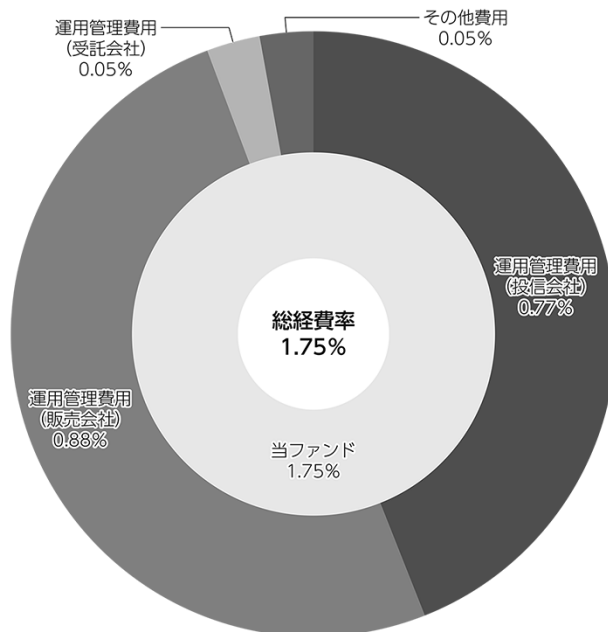
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年10月12日～2023年4月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
シェール関連株マザーファンド	千口 175,405	千円 300,000	千口 86,546	千円 151,000

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2022年10月12日～2023年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	シェール関連株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	757,173千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,803,849千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.19

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2022年10月12日～2023年4月10日)

利害関係人との取引状況

<シェール関連株オープン>

該当事項はございません。

<シェール関連株マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
株式	百万円 475	百万円 40	% 8.4	百万円 281	百万円 -	% -

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

シェール関連株オープン

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	789千円
うち利害関係人への支払額 (B)	103千円
(B) / (A)	13.1%

(注) 売買委託手数料総額は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPANです。

○組入資産の明細

(2023年4月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
シェール関連株マザーファンド	千口 2,141,793	千口 2,230,652	千円 3,647,563

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
シェール関連株マザーファンド	千円 3,647,563	% 92.3
コール・ローン等、その他	304,007	7.7
投資信託財産総額	3,951,570	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) シェール関連株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (3,646,960千円) の投資信託財産総額 (3,647,524千円) に対する比率は100.0%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=132.62円、1カナダドル=98.18円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年4月10日現在)

項目	当期末	円
(A) 資産	3,951,570,594	
コール・ローン等	304,007,504	
シェール関連株マザーファンド(評価額)	3,647,563,090	
(B) 負債	143,965,955	
未払収益分配金	106,726,833	
未払解約金	3,281,675	
未払信託報酬	33,695,222	
未払利息	332	
その他未払費用	261,893	
(C) 純資産総額(A-B)	3,807,604,639	
元本	3,557,561,133	
次期繰越損益金	250,043,506	
(D) 受益権総口数	3,557,561,133口	
1万口当たり基準価額(C/D)	10,703円	

- (注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.0703円です。
(注) 当ファンドの期首元本額は3,283,522,207円、期中追加設定元本額は1,196,876,611円、期中一部解約元本額は922,837,685円です。

○損益の状況 (2022年10月12日～2023年4月10日)

項目	当期	円
(A) 配当等収益	△ 34,069	
受取利息	516	
支払利息	△ 34,585	
(B) 有価証券売買損益	△299,199,350	
売買益	15,225,792	
売買損	△314,425,142	
(C) 信託報酬等	△ 33,961,137	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△333,194,556	
(E) 前期繰越損益金	34,909,469	
(F) 追加信託差損益金	655,055,426	
(配当等相当額)	(720,673,714)	
(売買損益相当額)	(△ 65,618,288)	
(G) 計(D+E+F)	356,770,339	
(H) 収益分配金	△106,726,833	
次期繰越損益金(G+H)	250,043,506	
追加信託差損益金	610,267,200	
(配当等相当額)	(679,602,089)	
(売買損益相当額)	(△ 69,334,889)	
繰越損益金	△360,223,694	

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 収益分配金

決算期	第20期
(a) 配当等収益(費用控除後)	27,029,138円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	724,390,315円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	34,909,469円
分配対象収益(a+b+c+d)	786,328,922円
分配対象収益(1万口当たり)	2,210円
分配金額	106,726,833円
分配金額(1万口当たり)	300円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税引前）	300円
支払開始日	2023年4月14日（金）までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

該当事項はございません。

シェール関連株マザーファンド
第10期 運用状況のご報告
決算日：2023年4月10日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	米国、カナダおよびメキシコのシェール関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主要投資対象	米国、カナダおよびメキシコの取引所上場（上場予定を含みます。）株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		S & P 500指数(円換算後)		株組入比率	株先物比率	純資産額
	騰落率	中率	(参考指数)	騰落率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
6期(2019年4月9日)	10,313	△0.1	322,646.69	15.9	95.0	—	896
7期(2020年4月9日)	5,449	△47.2	299,940.32	△7.0	95.0	—	367
8期(2021年4月9日)	8,224	50.9	447,861.65	49.3	96.3	—	639
9期(2022年4月11日)	15,639	90.2	559,374.34	24.9	96.7	—	1,586
10期(2023年4月10日)	16,352	4.6	544,407.75	△2.7	99.5	—	3,647

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) S & P 500指数(円換算後)は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

S & P 500指数(円換算後)は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。

(注) 株式先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		S & P 500指数(円換算後)		株組入比率	株先物比率
	騰落率	中率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2022年4月11日	円	%	ポイント	%	%	%
4月末	15,639	—	559,374.34	—	96.7	—
5月末	15,526	△0.7	539,145.09	△3.6	99.3	—
6月末	17,530	12.1	533,127.95	△4.7	95.1	—
7月末	15,553	△0.5	521,957.68	△6.7	96.7	—
8月末	15,996	2.3	548,189.80	△2.0	97.6	—
9月末	17,331	10.8	552,601.36	△1.2	97.2	—
10月末	16,137	3.2	527,176.46	△5.8	99.5	—
11月末	19,142	22.4	578,371.16	3.4	99.1	—
12月末	18,398	17.6	549,596.08	△1.7	98.1	—
2023年1月末	16,686	6.7	510,799.46	△8.7	98.5	—
2月末	16,853	7.8	524,198.45	△6.3	97.8	—
3月末	17,174	9.8	542,898.78	△2.9	97.5	—
(期末) 2023年4月10日	16,065	2.7	540,907.33	△3.3	99.2	—
	16,352	4.6	544,407.75	△2.7	99.5	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年4月12日～2023年4月10日)



(注) 参考指数は、S & P 500指数 (円換算後) です。

(注) 参考指数は、期首 (2022年4月11日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・個別銘柄では、総合石油・ガス株のエクソンモービル、石油・ガス精製・販売株のマラソン・ペトロリアム、石油・ガス探査・開発株のヘスなどの保有がプラスに寄与しました。
- ・為替市場では、米ドルが円に対して上昇 (円安) したことがプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・個別銘柄では、素材株のモザイク、石油・ガス探査・開発株のオビンティブ、アンテロ・リソーシズなどの下落がマイナスに影響しました。

投資環境

(2022年4月12日～2023年4月10日)

北米株式市場は、2022年4月から6月中旬頃までは、米国の経済指標で高インフレ水準が示されたことで、金融引き締めへの警戒感から下降トレンドとなりました。7月から8月中旬は好決算を発表した銘柄や株価調整が進んだ銘柄を中心に買い戻しの動きが見られましたが、その後10月中旬頃まで金利先高観や企業業績の悪化、米中関係の緊迫化などが嫌気され下落する展開となりました。10月下旬以降はインフレ減速への期待感が相場を下支えしましたが、米連邦準備制度理事会（FRB）のタカ派姿勢継続が重石となり、さらに2023年3月上旬には米国のスタートアップ企業への融資を多く行うシリコンバレーバンクの財政状況の悪化が顕在化したことで信用不安問題が浮上し、上値が抑えられる展開となりました。

原油価格は、期初、ロシアのウクライナ侵攻が長期化するなど不安定な供給体制が継続したため、上昇する場面が見られましたが、世界的な景気減速懸念から需要の低下が懸念され、2022年6月中旬以降緩やかな下落となりました。2023年4月初旬、OPECプラス（石油輸出国機構（OPEC）と非加盟の主要産油国で構成）が減産強化に踏み切ったことで期末にかけて上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年4月12日～2023年4月10日)

株式組入比率は、概ね高位で推移させました。運用状況につきましては、石油・ガス探査・開発株を選好、高位とし、株主配当などの株主還元策を積極的に実施している株式を中心に組入れを行いました。また、米国内外での成長が期待できるパイプライン株や精製株、エネルギー設備・サービス関連株のウェイトを引き上げました。なお、組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジは行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年4月12日～2023年4月10日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としてのS & P 500指数（円換算後）の騰落率を7.3%上回りました。

今後の運用方針

(投資環境)

北米株式市場は、不安定な展開が予想されます。特に、2023年4月中旬以降に発表が本格化する2023年1-3月期の銀行決算の内容が、市場に大きな影響を与えると予想されます。また、インフレやFRBによる金融政策に関わるため、消費者物価指数（CPI）や雇用統計にも注目が集まると考えます。当面は、米地方銀行の経営破綻に端を発した金融システムに対する不安とFRBによる利上げの停止に対する期待が交錯する展開を想定します。その後は、米国経済のソフトランディングに対する期待や各国・地域の政府・中央銀行による金融システムへの支援が株価を下支えすると想定します。北米エネルギー企業を巡る環境は、欧州のロシア産エネルギーの輸入回避の動きから北米産天然ガス等の需要増加の恩恵を受けて、収益拡大による財務状況の改善や株主還元が期待できると考えます。また、天然ガスを取り扱う企業は、脱炭素の観点からもニーズが拡大すると見込みます。

(運用方針)

ファンドの基本方針に基づき、米国、カナダおよびメキシコの企業の中から、シェールガス／オイルの生産拡大により成長が期待される企業、エネルギーコストの低下により恩恵を受ける企業に投資をします。個別銘柄では、成長性、収益性、財務健全性などを勘案して銘柄を選定し、投資します。なお、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

○1万口当たりの費用明細

(2022年4月12日～2023年4月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	円 14 (14)	% 0.085 (0.085)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	16 (16) (0)	0.096 (0.095) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合計	30	0.181	
期中の平均基準価額は、16,865円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年4月12日～2023年4月10日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 3,352	千米ドル 18,790	百株 591	千米ドル 3,351
	カナダ	742	千カナダドル 1,804	197	千カナダドル 545

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2022年4月12日～2023年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	3,186,262千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,518,662千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.90

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2022年4月12日～2023年4月10日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 2,668	百万円 280	% 10.5	百万円 517	百万円 34	% 6.6

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	3,030千円
うち利害関係人への支払額 (B)	302千円
(B) / (A)	10.0%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPANです。

○組入資産の明細

(2023年4月10日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
EOG RESOURCES INC	15	50	596	79,154	エネルギー
EXXON MOBIL CORP	44	100	1,150	152,579	エネルギー
HALLIBURTON CO	54	170	556	73,746	エネルギー
PHILLIPS 66	23	49	507	67,238	エネルギー
SCHLUMBERGER LTD	42	130	645	85,547	エネルギー
DEVON ENERGY CORP	49	120	634	84,203	エネルギー
DOVER CORP	12	52	736	97,630	資本財
ONEOK INC	32	64	420	55,755	エネルギー
SEMPRA ENERGY	12	52	807	107,126	公益事業
COTERRA ENERGY INC	110	200	498	66,150	エネルギー
CHESAPEAKE UTILITIES CORP	10	31	404	53,643	公益事業
UNION PACIFIC CORP	8	26	526	69,810	運輸
ATMOS ENERGY CORP	22	55	634	84,188	公益事業
EQT CORP	79	147	472	62,660	エネルギー
CENTERPOINT ENERGY INC	50	160	492	65,291	公益事業
NATIONAL FUEL GAS CO	23	65	373	49,549	公益事業
NORFOLK SOUTHERN CORP	8	22	462	61,293	運輸
CHEVRON CORP	24	53	888	117,838	エネルギー
PIONEER NATURAL RESOURCES CO	12	30	624	82,818	エネルギー
CONOCOPHILLIPS	28	52	552	73,279	エネルギー
SM ENERGY CO	43	77	228	30,247	エネルギー
HESS CORP	25	70	986	130,784	エネルギー
MARATHON OIL CORP	97	180	459	60,920	エネルギー
MARATHON PETROLEUM CORP	28	60	772	102,393	エネルギー
MOSAIC CO/THE	33	89	388	51,544	素材
OCCIDENTAL PETROLEUM CORP	42	130	819	108,684	エネルギー
VALERO ENERGY CORP	19	46	609	80,886	エネルギー
WILLIAMS COS INC	56	120	355	47,186	エネルギー
WESTLAKE CORP	23	55	621	82,379	素材
HUNTSMAN CORP	48	110	287	38,191	素材
CONTINENTAL RESOURCES INC/OK	36	—	—	—	エネルギー
KINDER MORGAN INC	77	162	287	38,166	エネルギー
LYONDELLBASELL INDU-CL A	23	55	518	68,819	素材
TARGA RESOURCES CORP	26	75	561	74,529	エネルギー
MATADOR RESOURCES CO	36	76	386	51,270	エネルギー
CACTUS INC - A	50	105	437	57,993	エネルギー
MAGNOLIA OIL & GAS CORP - A	80	133	296	39,386	エネルギー
ANTERO RESOURCES CORP	91	158	370	49,199	エネルギー
DOW INC	41	100	546	72,490	素材
OVINTIV INC	42	100	390	51,827	エネルギー
DT MIDSTREAM INC	27	51	247	32,850	エネルギー
ARCHROCK INC	206	550	546	72,503	エネルギー
FRONTLINE PLC	—	150	223	29,660	エネルギー
CHENIERE ENERGY INC	26	55	842	111,709	エネルギー
CSX CORP	79	230	690	91,568	運輸
CHESAPEAKE ENERGY CORP	—	30	225	29,950	エネルギー

シエール関連株マザーファンド

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
DIAMONDBACK ENERGY INC	21	48	674	89,470	エネルギー	
PDC ENERGY INC	25	54	357	47,435	エネルギー	
APA CORP	45	83	315	41,905	エネルギー	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,022 47	4,783 48	25,437 —	3,373,464 <92.5%>	
(カナダ)			千カナダドル			
CANADIAN NATURAL RESOURCES	33	71	560	55,020	エネルギー	
ENBRIDGE INC	29	—	—	—	エネルギー	
SUNCOR ENERGY INC	64	180	767	75,372	エネルギー	
WHITECAP RESOURCES INC	251	430	462	45,383	エネルギー	
PEMBINA PIPELINE CORP	42	83	367	36,091	エネルギー	
CRESCENT POINT ENERGY CORP	230	430	429	42,175	エネルギー	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	649 6	1,194 5	2,587 —	254,043 <7.0%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,671 53	5,977 53	— —	3,627,508 <99.5%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年4月10日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円 3,627,508	% 99.5
コール・ローン等、その他	20,016	0.5
投資信託財産総額	3,647,524	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(3,646,960千円)の投資信託財産総額(3,647,524千円)に対する比率は100.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=132.62円、1カナダドル=98.18円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,647,524,153
コール・ローン等	17,653,057
株式(評価額)	3,627,508,210
未収配当金	2,362,886
(B) 負債	191
その他未払費用	191
(C) 純資産総額(A-B)	3,647,523,962
元本	2,230,652,575
次期繰越損益金	1,416,871,387
(D) 受益権総口数	2,230,652,575口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,352円

- (注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.6352円です。
 (注) 当ファンドの期首元本額は1,014,489,360円、期中追加設定元本額は1,570,892,619円、期中一部解約元本額は354,729,404円です。
 (注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。
 シェール関連株オープン 2,230,652,575円

○損益の状況 (2022年4月12日～2023年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	113,510,307
受取配当金	113,534,268
受取利息	501
支払利息	△ 24,462
(B) 有価証券売買損益	△ 47,124,875
売買益	301,621,138
売買損	△ 348,746,013
(C) その他費用等	△ 3,423,682
(D) 当期損益金(A+B+C)	62,961,750
(E) 前期繰越損益金	572,072,852
(F) 追加信託差損益金	1,019,107,381
(G) 解約差損益金	△ 237,270,596
(H) 計(D+E+F+G)	1,416,871,387
次期繰越損益金(H)	1,416,871,387

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。